トト・ザ・ヒーロー（1991）

TOTO LE HEROS

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 ベルギー／フランス／ドイツ
色彩 Color
時間 92分
初公開日 1991/12/21
公開情報 フランス映画社

【キャッチコピー】
大好きな姉アリスとふたり　帰らぬ父を待ちわびて　トマが夢みた名探偵トト・ザ・ヒーロー　笑いと涙、波瀾万丈の愛のドラマ　カンヌ、ニューヨークで人気爆発！

【解説】
　雰囲気のいい映画ながら辛口。しかし、滑らかすぎるのが難なのか、後々まで残るイメージは非常に映像的な作品であるにも関わらず少ない。トトは主人公トマの愛称。少年は、いつもＣ・トレネのシャンソン“ブン”を陽気に歌ってくれる飛行士の父と、優しい母、大好きな姉のアリス（近親相姦的雰囲気もさらりと漂わす）、可愛くてちょっとおつむの弱い弟のセレスタンと幸福な五人暮らし。だけど、向かいの裕福なカント家の、同じ誕生日のアルフレッドと、産院の火事騒ぎで取り違えられたと確信し、同家に対し複雑な感情を抱いている。嵐の夜、カント氏の注文で英国にジャムの仕入れに飛んだ父は行方不明に……。以来、不幸続きの一家。少年は名探偵トト・ザ・ヒーローになって父を救い出すと姉に誓う。なのに、アルフレッドと交際し始めるアリスに、トマはむきになって怒る。すると彼女は、以前言っていたようにカント氏の巨大スーパーマーケットに本当に火を放ち、一緒に焼け死んでしまう。それが彼女のトトへの愛の証しだった……。この少年時代の回想が老境となったトマ（Ｍ・ブーケ）の現在、青年の頃の、姉の面影を残す美女との逢瀬（駆け落ちを誓った彼女エヴリーヌは成長したアルフレッドの妻だった）の想い出などと平行して語られる複雑な構成に全く淀みのないのには驚かされる。自身の死を前にしてアルフレッドへの“復讐”に、老人ホームを抜け出すトマなのだが……。田舎道でヒッチハイクした老トマが、追い抜かしていくトラックに見る幻影が素敵だ。その荷台にはピアノを弾くパパとアリスの姿。もちろん一瞬にしてかき消される。アリスを演じるＳ・ブランクは美しく、小さな魔女のようだ。彼女に接するためだけでも、この映画は観る価値がある。監督のドルマンはベルギーでサーカスのピエロや児童劇団を主宰していた変わり種。なるほどな、という天真爛漫さは作品にもよく出ている。

【クレジット】

監督	ジャコ・ヴァン・ドルマル	Jaco van Dormael
製作	ピエール・ドゥルオー	Pierre Drouot
	ダニー・ジェイ	
製作総指揮	ジャクリーヌ・ルイ	
脚本	ジャコ・ヴァン・ドルマル	Jaco van Dormael
撮影	ウォルター・ヴァン・デン・エンデ	Walther van den Ende
音楽	ピエール・ヴァン・ドルマル	Pierre Van Dormael
出演	ミシェル・ブーケ	Michel Bouquet
	トマ・ゴデ	Thomas Godet
	クラウス・シンドラー	Klaus Schindler
	サンドリーヌ・ブランク	Sandrine Blancke

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.

ミレーユ・ペリエ	Mireille Perrier
ジョー・ドゥ・バケール	Jo De Backer

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.